

研究課題名	広島原爆被爆者における被爆の影響に関する検討
研究期間	実施許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日
研究の対象	広島で原爆に被災し、広島市もしくは広島県より被爆者健康手帳を交付された原爆被爆者のうち、広島県内在住で人口動態調査死亡小票が提出された方です。
研究の目的・方法	<p>研究目的：被ばく資料調査解析部では被爆距離、被爆状況などから広島原爆被爆者の被爆線量を推定したデータベース（原爆被爆者マスターファイル）を保有しています。疾病に対する被爆の影響は多数例で評価し統計解析をしなければ明らかにできず、被爆者のデータベースを所有しているわれわれのみがなし得る重要な研究です。</p> <p>研究の方法：死亡小票を広島県、広島市、福山市および呉市の所轄保健所において転記もしくはそれらの情報を入手します。この情報を、すでに作成済みの原爆被爆者マスターファイルの氏名、性別、生年月日および住所と照合して被爆者の同定作業を行います。同定されたものについて死亡年月日および死因を付与した死亡者ファイルを作成します。この死亡者ファイルと原爆被爆者マスターファイルをもとに被爆者人口データを作成します。これをもとに被爆線量や被爆状況別に死因毎の死亡リスクを求め被爆の影響を評価します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：死亡小票、原爆被爆者マスターファイル（氏名、性別、生年月日および住所等）
外部への試料・情報の提供	本学単独で実施する研究のため情報を外部へ提供することはありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2009 年 3 月 27 日）
個人情報の保護	原爆被爆者マスターファイルと死亡者ファイルを分離することで個人情報の保護を図ります。死亡者ファイルは被爆者登録番号を付し個人情報管理者によって誰のものかわからないよう個人情報を加工されています。また個人情報の入力、記憶、解析は個人情報管理者および更新作業を行う者のみがアクセスできる大型コンピューターを用いて管理しており、この大型コンピューターは外部とは接続されていません。対応表は個人情報管理者のみが使用・管理します。
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>原爆放射線医科学研究所計量生物研究分野 教授 吉永信治</p>
その他	

<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じません。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3  T e l : 082-257-5854  原爆放射線医科学研究所計量生物研究分野 職名 教授 吉永 信治</p>
--------------------------------	--